

認知症についての主な相談先・受診先

認知症についての相談窓口・医療機関

- **地域包括支援センター**：市町村が設置する高齢者の総合相談窓口です。
- **かかりつけ医**：まずは身近なかかりつけの医師に相談しましょう。
- **認知症疾患医療センター**：認知症の専門医療相談・診断などを行う医療機関です。
- **愛知県若年性認知症総合支援センター**：
若年性認知症（65歳未満）の方のニーズにあった社会保障制度や関係機関につなぐ支援を行います。
電話 0562-45-6207 開設日 月曜日から土曜日（祝日、年末年始は除く）
開設時間 午前10時から午後3時



電話相談（認知症についての知識、介護経験を持つ者が相談に応じます。）

電話 0562-31-1911
開設日 月曜日から金曜日（祝日、年末年始は除く）
開設時間 午前10時から午後4時
運営 公益社団法人認知症の人と家族の会愛知県支部



地域における取組

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに向けて、地域において様々な取組を実施しています。詳細はお住いの市町村（地域包括支援センター等）にお問合せください。

見守りネットワークへの登録	認知症カフェ	チームオレンジ
認知症の方のひとり歩きを地域の人の協力で早期に発見する取組です。	認知症の方やその家族が、地域の人や専門家とお互いに情報を共有しあい、理解しあう場です。	認知症の方の困りごと等の解決に向けて、地域の支援者とマッチングする仕組みです。

あいち認知症パートナー企業・大学

愛知県では、認知症に理解の深いまちづくりに「じぶんごと」として取り組む企業や大学等を登録しています。

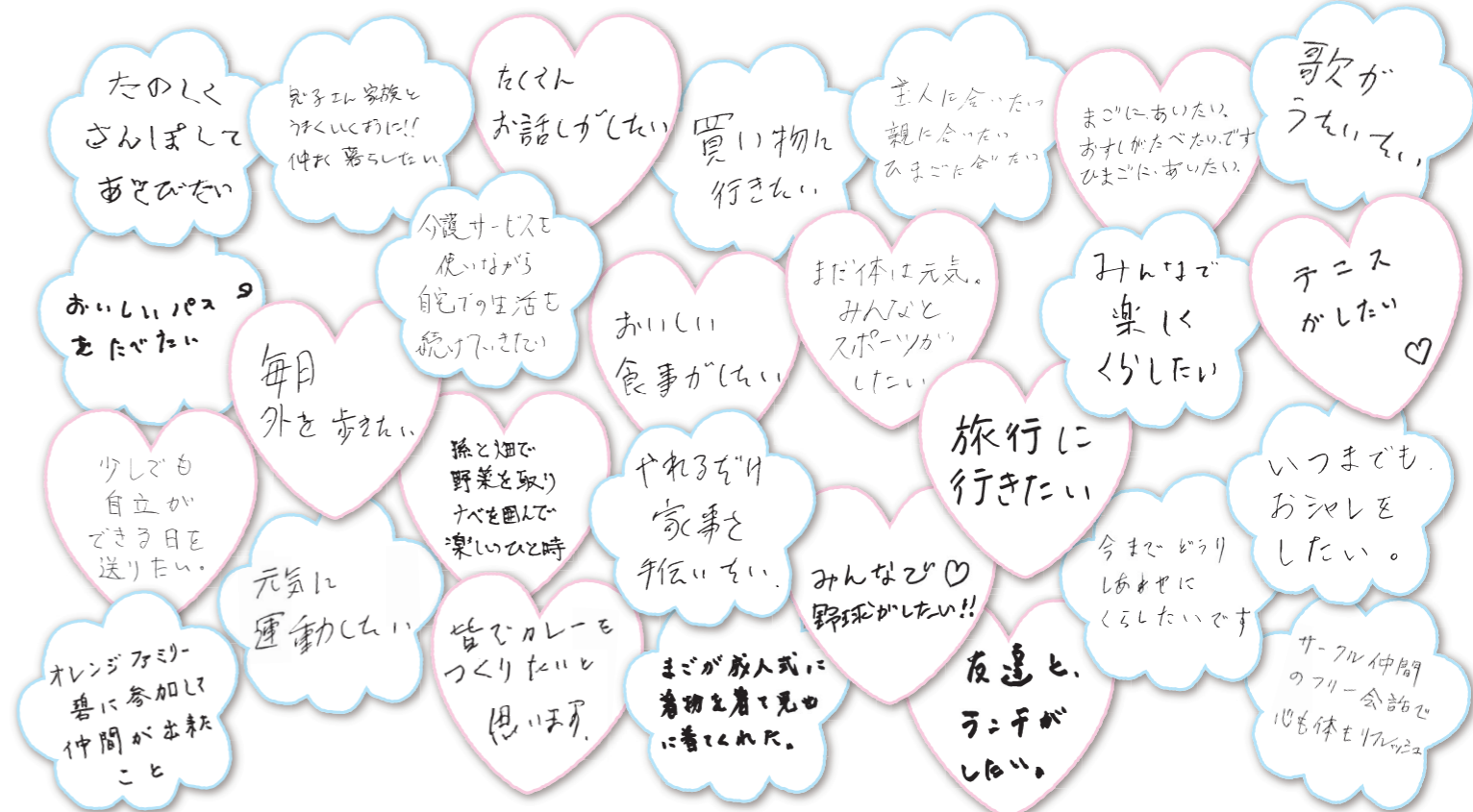
- ▶ 取組例：職員に認知症サポーターがいる高齢者の見守りネットワークへの参画
県の啓発資料の掲示



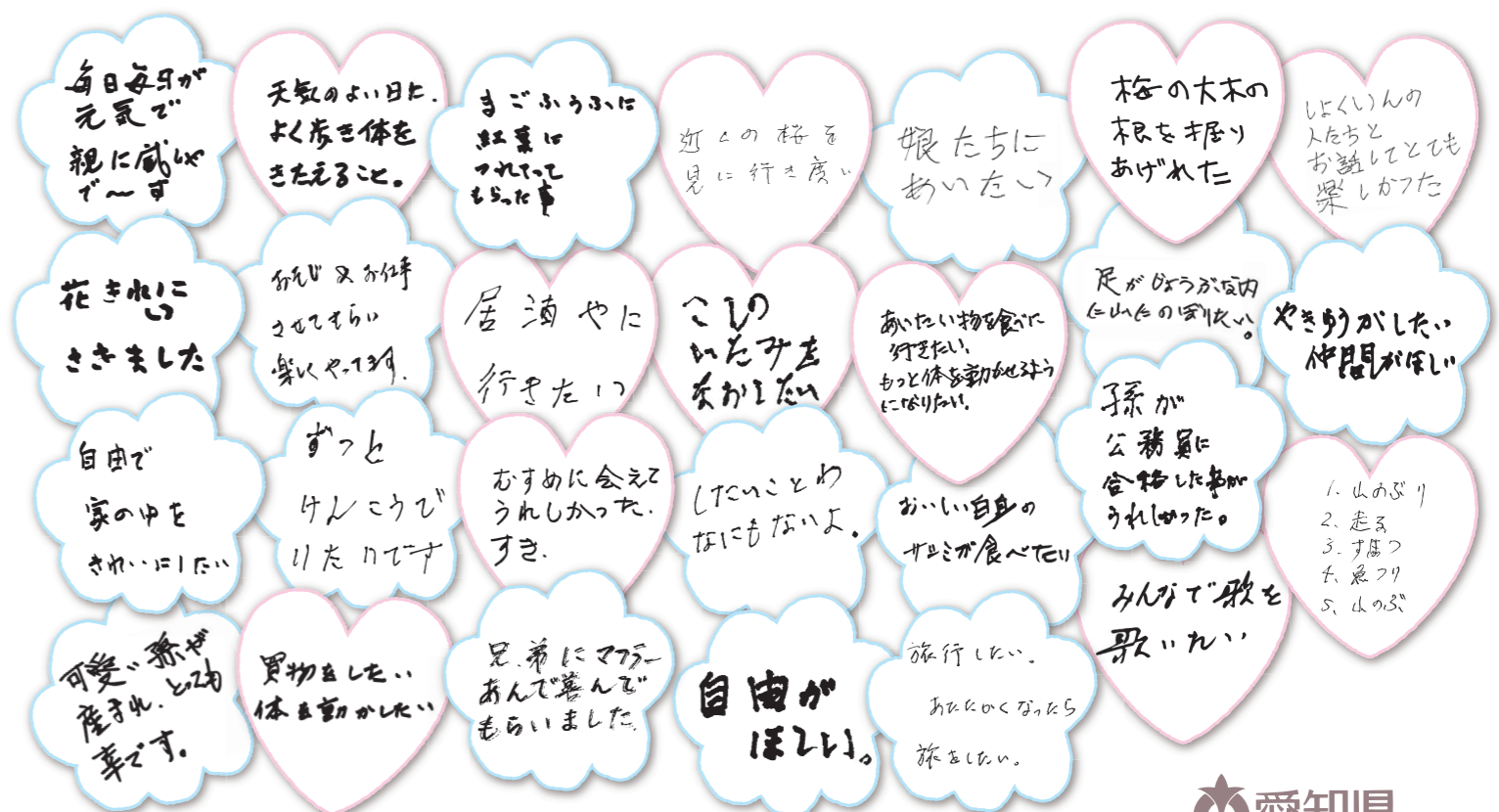
▲ あいち認知症パートナー企業・大学一覧

発行元・お問合せ先

愛知県 福祉局 高齢福祉課 地域包括ケア・認知症施策推進室 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話：052-954-6310 ファックス：052-954-6919 E-mail：chiikihoukatu@pref.aichi.lg.jp



誰もが「認知症とともに生きる」ために — 認知症の方にやさしいまちづくり —



県内在住の認知症の方ご本人の、「最近うれしかったこと」「したいこと」

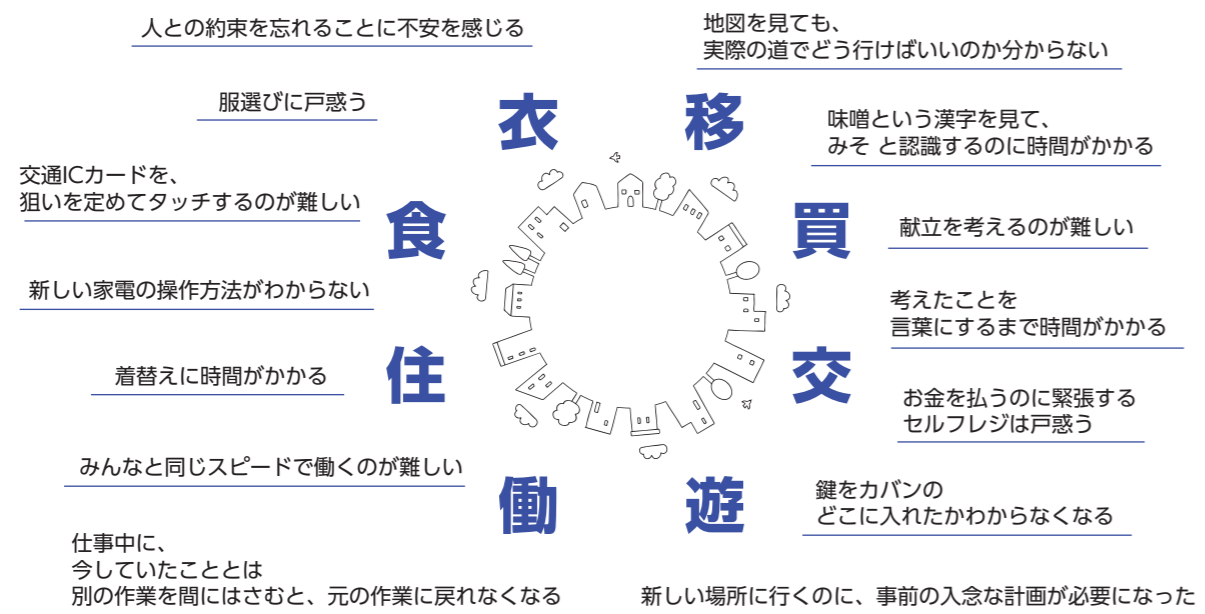


認知症の方にやさしい社会へ



認知症の方の暮らしにくさと周りの方のちょっとした手助け

人生100年時代、認知症になることは、何も特別なことではありません。認知症になっても住み慣れた地域で生活できる社会づくりが望まれています。認知症の方ご本人からは、次のような暮らしにくさを生活の中で感じているとの声が聞かれています。



周りの方々のちょっとした助けによって、認知症の方の活動の機会や楽しみの外出の幅が広がることがあります。また、認知症の方にとって暮らしやすいまちは、様々な人にとっても暮らしやすいまちに繋がっていきます。

【認知症の方ご本人に聞いた 周囲の人からのうれしかった手助け】

- 探しているものが見つからない時、やさしく声をかけてくれて安心した
- 支払いで、店員さんが財布の中を見ながら、いくら払えばよいのか教えてくれた
- 友達が何度も誘ってくれて、出掛けられるようになった
- コピーの方法がわからない時に、まわりのお客さんが助けてくれた
- バスの乗り降りに時間がかかるが、ゆっくりと待ってくれるので安心して利用ができる

認知症の方の暮らしを取り巻く人たちの例

スーパー、コンビニ、レストラン、カフェ、カルチャー施設、スポーツ施設、病院
図書館、映画館、交通機関、金融機関、美容院、近所の人たち



デーサービスに楽しく行っております。孫とランチに行って来ました。あるきたい体を動かしたい。ヒルにマクドナルド食スル事がたのしみ。人生は楽しく生きてゆくこと。いくつになっても旅行に行きたい。買物に出掛けた時色々な人に話しかけられる事が楽しくうれしいです。主人に会いたい。話を多くしたい。
(県内在住の認知症の方ご本人の「最近うれしかったこと」「したいこと」)

認知症の方への接し方のポイント

認知症の方の行動には、本人なりの理由があります。認知症の方に対応するときは、不安や混乱にありがちな認知症の方の心理を汲んで、さりげなく接することが重要です。

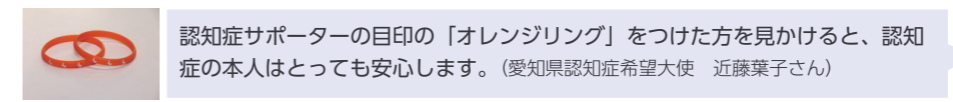
<p>具体的な対応の“7つのポイント”</p> <ol style="list-style-type: none"> ① まずは見守る ② 余裕をもって対応する ③ 声をかけるときは1人で ④ 後ろから声をかけない ⑤ やさしい口調で ⑥ おだやかに、はっきりとした話し方で ⑦ 相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する 	<p>認知症の人への対応の心得“3つのない”</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 驚かせない ● 急がせない ● 自尊心を傷つけない
<p>同じ認知症の方でも、その人の個性等によって、適切な接し方は変わってきます。「この人は今、何を望んでいるのだろう」と思いやりながら、臨機応変な対応を心がけることが大切です。</p>	



これからも元気で家族と一緒に自分の家で暮らしたい。会社時代の友達が元気になった事。北海道で孫が待っています。

認知症サポーターになりましょう ～認知症を正しく理解し見守る「応援者」～

市町村等が実施する「認知症サポーター養成講座」(標準90分)を受講して、「認知症サポーター」になりませんか。
※詳細は、お住いの市区町村の事務局などへお気軽にお問合せください。



ONEアクション研修 (企業向け研修)

認知症が疑われるお客様を想定した事例を用いた実践型研修(標準45分)です。グループワークを通して認知症の方への対応や職場で可能な工夫を考えます。
▶対象業種：小売業、金融機関、交通機関、飲食業、マンション管理等
認知症のお客様と接する機会のある職場
※詳細は、愛知県福祉局高齢福祉課地域包括ケア・認知症施策推進室へお気軽にお問合せください。

